

令和2年度 学校関係者評価報告書（令和元年度分）

令和2年度の学校評価委員会を開催し、自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日：令和2年9月17日（木）

学校関係者評価委員：

企業委員2名、有識者委員1名、卒業生委員1名、高校関係者委員1名（計5名）

評価コメント：

評価	評価に係る提言・改善等
(1) 教育理念・目標 全項目について適切に運営している。	学園本部を中心として、明確な教育理念・目標に従って教育業務を実施している。
(2) 学校運営 適切に運営しているが、部門間のデータ共有に不十分な点がある。	業務の効率化を図るため、教務・募集・事務のデータの一元化作業を進めている。情報化委員会を設置して、DB改修を検討する。
(3) 教育活動 適切に運営している。 インターンシップの推進に改善の余地がある。	増加傾向にある一日単位のインターンシップを有効利用する。
(4) 学修成果 資格取得及び、就職率の向上が図られている。 卒業生の動向を把握すべきである。	卒業生の情報を集約し整理するに至っていない。卒業後の動向を把握するために、アンケートによる情報収集を検討する。
(5) 学生支援 適切に運営している。 修学支援制度の機関要件の確認を受け、給付型奨学金、授業料減免制度の対象校として認定を受けた。	卒業生の状況把握を強化し、中途採用等の支援の充実を図る。
(6) 教育環境 適切に運営している。 大災害の発生を想定した BCP の取組みに不十分な点がある。	BCP(業務継続計画)への取組みを継続する。
(7) 学生の受入れ募集 全項目について適切に運用している。	問題なく実施されている。
(8) 財務 財務基盤が安定しており健全な学校運営がなされている。	問題なく実施されている。

<p>(9) 法令等の遵守 全項目について適切に運用している。</p>	<p>個人情報の運用に関しては、学校基準に従って適切に管理運用している。</p>
<p>(10) 社会貢献・地域貢献 全項目について適切に運用している。</p>	<p>北九州教育委員会の要請により、一般社会人を対象とした北九州市民カレッジ提携講座(IT リテラシー研修)を年に1回実施している。(令和2年度は新型コロナ対応のため中止)また、献血や清掃活動を行うことで、地域貢献を図っている。</p>

以上